



# 2月園だより

2021年2月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園

緊急事態宣言が再び発令され、感染者が増えてきたことで、感染がいよいよ近づいてきているように感じます。保育園は厚労省、区からも通常通りの実施という連絡が来ていますので、できる限りの感染対策を日々行いながら運営していきたいと思ひます。

コロナはもちろんのことですが、マスク着用による「子どもの育ち」も気がかりです。乳幼児期は周りの大人の表情を読み取って言語を発達させていきます。これだけ多くの大人がマスクをして表情が見えない中で育つ子ども達は、歴史上初めてといわれています。それがどういふ影響を及ぼすかもまだ不明です。コロナによって我慢してきたことも沢山あります。でもコロナだからとすべてをあきらめることはしたくありません。これからの行事も職員一同、工夫して取り組んでいきます。子どもたちは日々大きくなり、今を生きています。少しでも充実した時間を子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。



## ☆2月の予定☆

- 2日(火) 避難訓練  
節分の会
- 9日(火) 幼児身体計測
- 10日(水) 乳児身体計測
- 25・26日 卒園を祝う会総練習

※1日・8日・15日の各月曜日、英語であそぼう

## ☆3月の主な予定☆

- 2日(火) 避難訓練
- 3日(水) ひなまつりの会
- 6日(土) 卒園を祝う会
- 9日(火) 幼児身体計測
- 10日(水) 乳児身体計測
- 13日(土) 新入園児説明会
- 19日(金) 幼児お別れ遠足

※1日・8日・15日の各月曜日、英語であそぼう

※短期特例で、1歳うさぎ組に  
さんが仲間入りしています。よろしくお願ひいたします。

## ☆お知らせ・お願ひ☆

- 日頃から感染予防にご協力いただき、誠にありがとうございます。引き続きマスクの着用、手指消毒、検温、体調管理をよろしくお願ひいたします。園内での滞在時間の短縮にご協力いただきお迎え後は速やかに降園をお願ひいたします。
- ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願ひいたします。
- ゆり組(5歳クラス)は就学に向けて日中もマスクを着用します(食事・午睡・運動遊び以外)。予備を4~5枚持たせて下さいますようお願ひいたします。
- 今年の節分は2/2。これは明治30年以来、124年ぶりだそうです。こんなご時世なので鬼もオンラインでの出演に?!前年の邪気を払い新しい年を迎えます。子どもたちの笑顔とともに無病息災を祈りたいと思ひます。
- 小学校などに就学する保育園児童に対する「保育所児童保育要録」の作成が義務付けられています。保育所保育指針に基づき、子どもの育ちを支える資料として就学先の小学校などにお渡しする予定です。
- 朝遅れての登園はお子様活動に入りにくいことがあります。みんなと一緒に活動に入れるように、9時半頃までの登園にご協力ください。また、お休みする場合は、受診等で登園が遅れる場合も給食準備の関係上、朝9時30分頃までにご連絡をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

# ほかの子どもとくらべると 子どものいいところが見えない



主婦の友社  
3~6歳能力を伸ばす個性を伸ばす個性を光らせる

東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

## 子育てでいちばんいけないことは、 ほかの子とくらべること

子どもが幼稚園に入園したり、友だちと遊ぶ機会がふえてくると、自分の子とほかの子をくらべがちになります。「うちの子はかけっこがおそそうだ」「絵がへただ」「動作もなんだか緩慢だ」「うちの子はリーダーシップをとれそうにない」などとくらべてしまうのです。

ほかの子とくらべて「だからダメ」「だからいい」といふ見方をしていると、その子の個性が見えなくなってしまいます。子育てでいちばんいけないことは、ほかの子とくらべることです。

どんな分野でも、わが子より「すぐれた」子どもはいるものです。運動神経のいい子、すらすらと本が読める子、明るくあいさつができる子、絵のじょうずな子、ピアノでたくさん曲が弾ける子など、わが子より「すぐれた」面のある子どもは必ずいるものです。

くらべてしまうと、「ああいう子になってくれなかな」とわが子に関して欲求不満のようになり、ほかの子とくらべて「これができないから、がんばらせよう」と、その子にないものねだりをして、本人がやりたくもないことをいっばいさせることになります。でも、そう簡単にはしませんし、できるようにもなりません。

また、親はくらべることによって、その子のいいところが見えなくなって、「うちの子はダメなところだらけ」と見てしまいがちです。子どもは批判されることになり、文句を言われるうちに自尊心を下げ、「わたしはダメな子だ」と思ってしまうのです。「ほかの子とくらべない」といふのは、子育ての永遠のテーマです。むずかしいことですが、とにかく自分のこどもとほかの子をくらべないことはとてもたいせつなことです。

## くらべるならその子の過去とくらべる

くらべるなら、その子の過去とくらべましょう。「歩き始めるのがおそくて心配したけれど、いまは走り回っている」「私のそばから離れなかつたけれど、私がいなくても遊べるようになった」といふように、「こんなことができなかった子が、できるようになった」と見ていけば、親もうれしいですし、

子どもだって、親が喜んでくれている、信頼されていると思うわけです。

くらべない、ということ、その子らしさを見つけて育てていこうということです。しかし、「その子らしさ」は、親が期待しているところに出てくるとは限りません。たいがい親の期待と逆のところに、その子らしさが出てきます。

たとえば、「人の後ろばかりにいて、どうしてリーダーになろうとしないの?」などと思うかもしれません。でも、そういうときは「この子は人と競争して勝とうという気持ちは全然ないみたい。他人との関係で優位に立ちたいと思わなくて、じっくり考えて、自分で納得したことをやろうとしている。意外に大物かもしれない」と、できるだけいいほうに見てあげましよう。

運動が苦手な子でも、他人が運動しているのを見るのが好きかもしれません。いっしょにスポーツ観戦をして、あの野球選手はバットの振り方がいいよね、というふうに見ていると、「ほくはあまりスポーツが得意ではないから、少し頭を使って運動しなくちゃいけない」と覚えていきます。スポーツが苦手な子どもには、「スポーツがうまくなれ」と言うのではなく、体を動かすことの大いせつさを体験させてあげたり、見るスポーツのおもしろさを教えて、じょうずではなくても好きなスポーツを見つけてあげられるといいのです。

中学生くらいになったとき、運動神経はそんなによくないけれど、心肺機能が高いために長距離走の選手になったり、登山が得意になったりすることもあります。慎重で集中力があるのでカーリングに向いていたりすることもあるでしょう。

子どもをくらべないで育てるといふのはとてもむずかしいことです。でも、子育てでいちばんたいせつなことのひとつは「この子はこの子でしかない。ほかのだれかとくらべてしまつたら、この子のよさは見えてこない」といふこと、これだけは覚えておいてほしいと思ひます。

